

事業名	みんなで考えよう 温暖化のこと 副題 地球が病気になっています
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人チルドレンズ・ミュージアム 安曇野市豊科高家 1137-69
事業区分	(4)安心・安全な地域づくりに関する事業 (5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,773,000 円 (うち支援金: 1,418,000 円)

事業内容

・温暖化対策の取組が、長野県で宣言され、大人も子どもたちも一緒になって取り組まなければならない。地球環境から生活に密着した科学の事象を、子どもたちに切り口分かりやすい切り口で説明したり、実際の発電装置や顕微鏡を観察することで、環境問題の大切さを学んだ。



【風力発電装置】

事業効果

※地域活性化ための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・どこの開催地の子どもたちも真剣且つ、集中して参加している。当法人の専門員の前向きな情熱や工夫した展開方法や姿勢が伝わり、環境問題の大切さをしっかり受け止めている。

【目標・ねらい】

- ①温暖化の問題を多少難しくても自分の五感で感じ取る機会としたい。
- ②そのため、やさしい切り口を持つ科学的な説明を介して科学力向上を目指したい

※自己評価 【 A 】

【理由】

・生活に密着した科学的事象を交え、感じとる機会を提供することは、時代のニーズである。特に子どもたちに対して、責任ある大人の責任を考慮している。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・温暖化の問題は、今、子どもでいる子どもたちが、社会の中心的役割をはたしているだろう時代の大きな問題として立ちのぼることが想定される。大人の責任と愛情の一環として、日常的にこの事業に係属していかなければならない。

「防火訓練は、毎年、毎年継続しています。この事業も継続することで理解度が進むと思います。ぜひ、やってください。協力します。」この言葉がすべてを代弁していると思います。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある